

市町村と連携した3R普及啓発
～自治体担当者と地域に根ざした3Rリーダーの
情報更新に向けて～

2022 年度報告書

2023 年3月

 3 R 推進団体連絡会

 NPO法人 持続可能な
社会をつくる **元氣ネット**

【目次】

I 実施概要

- I-1 これまでの背景とねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- I-2 実施一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- I-3 概要・名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

II 実施内容

- II-1 新規3R市民リーダー育成講座・・・・・・・・・・・・・・ 7
- II-2 スキルアップ研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- II-3 自治体担当者向け情報交換会・・・・・・・・・・・・・・ 19
- II-4 出張講座・イベント出展・・・・・・・・・・・・・・ 19
- II-5 3R情報定期便・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- II-6 情報提供・その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

III 考察

- 総括・次年度に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

■添付資料

資料1 第2回スキルアップ研修 議事録

資料2 自治体情報交換会 議事録

I 実施概要

1. これまでの背景とねらい

●2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言した。120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」という目標を掲げている。日本では、2021年6月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（以下、「プラ新法」）が成立し、2022年4月より施行となった。カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーに向けた消費者の意識変革と行動変容はますます重要になる。

●2018年6月に閣議決定された第四次循環型社会形成推進基本計画では、経済的側面、社会的側面との統合を含めた「持続可能な社会づくりとの統合的取り組み」の重要性を謳い、具体的に我が国の目指すべき将来像として、「地域循環共生圏による地域活性化」や「ライフサイクル全体での資源循環の徹底」などをあげ、その担い手として各主体の役割と連携した取り組みへの期待を示し、特にNPO・NGOには「各主体による循環型社会形成に関する理解や活動を促進すると共に、連携協働のつなぎ手となることを期待する」としている。2015年に国連で採択されたSDGs「持続可能な開発目標」では、循環型社会構築の重要性が目標12「つくる責任 つかう責任／持続可能な生産と消費形態を確保する」の特に12.2「2030年までに、天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する」、12.5「2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」そして12.8では「人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識をもつようにする」と明確に示されている。

●当NPOでは、市民・事業者・行政の連携による取組が重要と考え、市民の3Rに関する普及啓発の担い手として「3R市民リーダー育成」を貴連絡会と連携して2011年から実施してきた。

●以下に、これまでの事業の経緯を簡略に示す。

2011～2012年度は、市民参加で開発した「リサイクルの基本」冊子を有効に使用し、新

たな市民リーダーに容器包装の3Rと循環を学ぶ場を設定。市民目線の講座プログラム3種を開発、改良し、一般向け普及啓発実践の場も設けた。

2013年度は、「3R市民リーダー」の実力向上のため「スキルアップ研修」を実施すると共に、出張講座を積極的に展開し、さまざまな地域で9回の3R講座を開催した。

2014年度からは、すそ野の拡大をめざし、自治体のリサイクル担当部署や関連施設と連携。地域で普及啓発を率先して担う3R市民リーダーを育成してきた。2014年度は相模原市と国分寺市、2015年度は越谷市とさいたま市、2016年度は千葉市と松戸市、2017年度は荒川区、2018年度は新宿区、2019年度は町田市、2020年度は柏市、2021年度は市川市で育成講座を開催、各地で新規3R市民リーダーが誕生した。2022年度に予定されていた白井市については、2023年度に延期となった。

以下、詳細内容を報告する。

2. 実施一覧

2022年	3Rリーダー育成 スキルアップ研修	自治体担当者 向け情報交換会	出張講座・ 出展	情報提供・その他
4月	14(木)市川市第2回 25(月)市川市第3回 3R市民リーダー育 成講座			
5月				
6月	9(木)10(金)第1回 3Rリーダースキル アップ研修オンライ ン		5(日)いちか わ環境フェア	
7月				3(日)第1回SDGs・ ESD公開フォーラム～ みんなでつながる地域拠 点を創ろう～にて講演
8月				
9月		5(月)自治体担当 者向け容器包装3 R情報交換会	23(金)24(土) 新宿区3R推 進月間パネル 展	
10月	20(木)柏市市民リー ダー向けフォロー アップ講座		1(土)子どもと ためす環境ま つり(中央区佃 島小学校) 27(木)3R推 進全国大会オ ンライン(～2 月末)	16(日)神奈川県環境学習 リーダー養成講座 21(金)つな環40号「循環 型社会へのトランジショ ンのために」巻頭対談掲 載 22(土)消費生活コンサルタント 養成講座
11月				26(土)南筑後協議会
12月			7(水)～9(金) エコプロ2022	
2023年 1月	19(木)第2回3Rリー ダースキルアップ 研修ハイブリッド			
2月				2(木)容器包装交流セミ ナーin鹿児島
3月	第3回3Rリーダ ースキルアップ研修 オンライン予定		1(水)～7(火) DNPイベン ト予定	

3. 概要・名簿

(1) 事業内容の検討

2022年3月 貴連絡会へ2022年度企画書提出

【事業概要】

- ①自治体と連携した3R普及啓発
 - ・新規3R市民リーダーの育成
 - ・過年度のフォローアップ（柏市・町田市・市川市）
- ②自治体担当者への最新情報の提供と普及啓発に関するニーズの把握
 - ・これまでの連携自治体と首都圏近郊の自治体担当者向け情報交換会を開催
- ③貴連絡会のブース展示会場、および出張講座等で普及啓発を実施
 - ・リアル会場での実施があれば参加（3R推進全国大会、他）
 - ・3Rクイズの動画を活用し、オンラインイベントに出展
- ④過年度の3R市民リーダーのスキルアップ（相互学び合いの充実）
 - ・過年度の地域・3Rリーダーのフォローアップとしてスキルアップ研修を、オンラインを活用して実施
- ⑤その他
 - ・元気ネットに講演依頼があった会場での情報提供、普及啓発等

(2) 新規3R市民リーダー育成講座実施概要・名簿

【市川市】

2021年度の新規3Rリーダー育成講座は、市川市で1月より開始したが、第1回開催後に「まん延防止等重点措置」が発出されたため、2月に予定されていた第2回、第3回については延期となった。

その後、年度をまたいで下記の日程で開催した。

●会合開催

2022年

1月17日（月）第1回会合

4月14日（木）第2回会合

4月25日（月）第3回会合

●実践発表

6月5日（日）実践発表 いちかわ環境フェア2022にて

●市川市3Rリーダー名簿

石村 美佐子	篠原 國幹	高橋 久代	近岡 庸子
長谷川 鉄臣	久野 綾子	藤屋 恵三	山崎 叔江

(3) スキルアップ研修

2022年6月9日(木)・10(金)

第1回3Rリーダースキルアップ研修(オンライン)

2023年1月19日(木)

第2回3Rリーダースキルアップ研修(ハイブリッド)

(4) 自治体担当者向け容器包装の3Rと普及啓発に関する情報交換会(オンライン)

2022年9月5日(月) 情報交換会

(5) 出張講座・イベント出展

昨年に続いてコロナ禍のためオンライン開催となるイベントもあったが、今年度は実会場とオンラインのハイブリッド開催や対策を講じた上での実会場開催のケースも出てきた。会場出展可能なイベントについては、会場参加の方向で準備し、以下の4イベントに出展した。

①2022年9月23日(金)～24日(土) 新宿区3R推進月間パネル展

②2022年10月1日(土) 子どもとためす環境まつり(中央区)

③2022年10月27日(木) 3R推進全国大会(東京) 2月末までアーカイブ配信

④2022年12月7日(水)～9日(金) エコプロ2022

(6) 3R市民リーダー名簿(過年度の育成講座修了者中、過去3年間に出張講座・研修会等に参加、活動実績のある方。)

●初年度メンバー

秋田 さかえ 杉並消費者グループ連絡会

秋葉 友紀子 ひとえの会(世田谷区消費生活課区民講師)

植木 恭子 段ボールコンポスト柏

衣川 信子 新宿環境リサイクル活動の会(エコギャリー-新宿もったいないチーム)

鈴木 栄美子 ひとえの会(世田谷区消費生活課区民講師)

●個別研修修了生

田中 雅子 ひとえの会(世田谷区消費生活課区民講師)

●越谷市

伊藤 ふさ江 岩佐 侃 黒田 美智子 小池 清

御所野 三代子 高田 陽子 高山 津 富沢 二三子

●松戸市

齋藤 通子 山崎 恵

●荒川区

渋谷 友子

●新宿区

下山田 恵子 新田 怜弥

●町田市

石田 恵美 岡納 京子 高橋 門樹 福井 由可利
村上 多津子 村松 利夫 安川 正純 吉崎 洋子

●柏市

阿部 壮太 新井 優子 加藤 栄子 金子 眞理子
後藤 典子 佐々木 睦子 高橋 雅子 平山 裕子

*市川市については、(2)に記載済み

(7) 情報提供、その他

2022 年

- 7月3日(日) 第1回SDGs・ESD公開フォーラム～みんなでつながる地域
拠点を創ろう～にて講演
- 10月16日(日) 神奈川県環境学習リーダー養成講座(オンライン)にて、「環境問題
の基礎知識」容器包装の3Rの情報提供と3R市民リーダー育成
事業を紹介
- 10月21日(金) つな環40号「循環型社会へのトランジションのために」巻頭対談
掲載
- 10月22日(土) 一般財団法人日本消費者協会主催 消費生活アドバイザー受験者向
け講座にて、容器包装の3Rについて情報提供
- 11月26日(土) 南筑後プラスチック協議会報告会にて、3R市民リーダー育成事
業を紹介

2023 年

- 2月2日(木) 容器包装交流セミナーin鹿児島にて、3R市民リーダー育成事業
を紹介

II. 実施内容

1. 新規3R市民リーダー育成講座

①市川市（一部再掲）

■経緯

千葉県市川市における新規3R市民リーダー育成講座については、1月～2月に講座開催の予定で、1月17日に第1回を開催したが、その直後にまん延防止等重点措置発出となったため、2月に予定していた第2回と第3回は延期となり、調整の結果、年度をまたいで4月に開催した。

■市川市3Rリーダー育成講座

第1回：2022年1月17日（月）10：00～12：00（第1回は再掲）

場所：市川市役所第2庁舎 4階会議室（市川市南八幡2-20-2）

講座概要：自己紹介、講座の主旨説明、元気ネットと容器包装の3Rについて講義、クイズ・ゲーム実演、台本読み合わせ、感想

参加者：（敬称略）

〔新規リーダー〕石村 美佐子、篠原 國幹、高橋 久代、近岡 庸子、
長谷川 鉄臣、久野 綾子、藤屋 恵三、山崎 叔江

〔市川市生活環境整備課〕高橋 誉、中江 千恵子、鈴木 庸代、久味木 美沙
*高橋様は欠席

〔3Rリーダー〕衣川 信子

〔元気ネット〕鬼沢 良子、足立 夏子、足立 枝里

【第1回の様子】



【新規リーダーの感想】

- ・ 3Rクイズ de ビンゴなど、楽しみながらいろいろ学べて面白かった。
- ・ ごみの問題と軽く感じておりましたが、大変重要な問題と強く感じました。これから勉強して3Rリーダーとして頑張りたいと思います。
- ・ 新しく情報が知れる良い機会になりました。実演ができたのも、分別ごみのその後もわかって良かったです。何に生まれ変わるかの部分がすごい！
- ・ 楽しかったです。久しぶりに大きい声を出してすっきりしました。次回までにおぼえられるかどうか不安ですが、次回も楽しみにしています。
- ・ どうして分別しなくてはいけないか人に聞かれて説明できなかつた。人に伝えることはむずかしいですが、最後の所まで説明できるようになりたい。
- ・ ごみ削減が地球温暖化防止のためにも大切。ごみの分別をして燃やすごみを減らすこと、資源化することが大切である。もっと詳しく勉強したい。
- ・ 楽しく勉強になった。行動する一歩になった。自分の知識にもっと厚みを持ちたい。
- ・ やったことがないことを今日はやった。何に変わるかわかって勉強になった。子ども対象にこれまでやってきたが、一般向けにもやっていきたい。
- ・ ごみの分別、種類がわからなかつた物がわかつた。例えば保冷剤は燃やすごみ、リチウムイオン電池は燃やせないごみ。自分の住んでいる地域は、分別等に興味のない地域なので、じゅんかんパートナーひとりで大変だが、自分がわかっていないと伝えられないので、わかって良かった。

【先輩リーダー】

- ・ 皆さんの「楽しんで覚えよう！」というやる気を感じました。これからは楽しみです。私自身も、再度学びなおす機会を得て、ありがたいです。

【市川市生活環境整備課】

- ・ 分別方法について、クイズを使用して楽しく学ぶことができるのは良いと思いました。
- ・ 本日はありがとうございました。小学校の出前授業で〇×クイズをやっていましたが、クイズの出し方や回答方法など教えていただき、とても分かりやすかったです。
- ・ 本日は第1回会合ありがとうございました。何になるのかなゲームの内容については知らないこともあり勉強になりました。他のものも学ばせていただくのを楽しみにして持ちかえり、読ませていただきます。

第2回：2022年4月14日（木）9：30～12：00

場所：市川市役所第2庁舎 4階会議室

講座概要：「リサイクルの基本」解説／講座練習／意見交換、感想共有

参加者：（敬称略）

〔新規リーダー〕石村 美佐子、高橋 久代、長谷川 鉄臣、久野 綾子、山崎 叔江

〔市川市生活環境整備課〕高橋 誉、笹沼 花梨、春原 英莉

〔3Rリーダー〕衣川 信子

〔元気ネット〕足立 夏子、地平 百合子

【第2回の様子】



【新規リーダーの感想】

- ・久しぶりの研修でしたが、回を重ねる度に、意識が少しずつ高まるのを感じます
- ・「リサイクルの基本」等を学び特にアルミ缶とボーキサイトのところが知る事が出来ました。この冊子は素晴らしいと思います。
- ・「リサイクルの基本」の冊子を見て、資源が回って（循環）いることを実感しました。
- ・講座練習も個々の流れをスムーズに出来るようにもう一度読み返します。
- ・資源回収したものが何になるか？どんな製品になるかを一覧表で作ってみたい。
- ・今回も、とても勉強になりました。ごみではなく資源に変えていくことの大切さを改めて感じました。
- ・勉強したことを伝えていきたい。
- ・じゅんかんパートナーを10年以上もさせて頂きながら、私の無知さを今日の講習ではっきりわかりました。参加するたびに知らないことを学ぶことが出来、ほんとうれしいかぎりです。この講習のたびに視野が広くなり勉強して行こうと思います。

【先輩リーダー】

- ・台本と違うことを言うてはいけないのですが、読んでいてもダメ（と私もよく注意されました）なので、難しいですね、それでもイベントなどでお客様を前に行なうととても楽しく、自分自身も覚えていくので、是非実際の現場での経験を重ねていきましょう。一緒の仲間として、どうぞよろしくをお願いします。

【市川市生活環境整備課】

- ・3Rクイズ de ビンゴがとてもわかり易く、啓発している姿が目にかぶようで楽しいものでした。市だと写真やパワーポイントなどに頼ることが多く、実物を用意することも理解を深めるのに重要と思いました。
- ・リサイクルについて詳しく知ることができて良かったです。ビンゴを通して3Rを学べるのが楽しくて参考になりました。市川市でも3Rの啓発の際に、活用させていた

だきたいと思います。

- ・ごみの分別に興味がない人に、正しい知識をつけていただく、というのは難しいことだと思います。ただ、まわりがしっかりとやるべき事を行っているから自分もしっかりと分別しなければ恥ずかしいと思うような状況をつくることできれば、意識を変えていくことができる気がします。市川市民の方々に、ごみへの関心をもってくださいの方が少しでも増えるような啓発活動は重要だと思いました。

第3回：2022年4月25日（木）9：30～12：00

場所：市川市役所第2庁舎 4階会議室

講座概要：3R推進団体連絡会より情報提供／発表（模擬講座）／
意見交換、感想共有／実践発表に向けた打合せ

参加者：（敬称略）

〔新規リーダー〕石村 美佐子、篠原 國幹、高橋 久代、長谷川 鉄臣、久野 綾子、

〔市川市生活環境整備課〕高橋 誉、笹沼 花梨、春原 英莉

〔3R推進団体連絡会〕川村 節也、田中 希幸、中田 良平、保谷 敬三

〔3Rリーダー〕衣川 信子

〔元気ネット〕足立 夏子、地平 百合子

【第3回の様子】



【新規リーダーの感想】

- ・今日もいろいろ学ぶ事ができました。プラのマークはプラスチック製品ではなく「プラスチック製容器包装類」である事は、自信を持って周囲の人達に伝えられるようになりました！ありがとうございました。
- ・燃やすごみ、燃やさないゴミ、有害ごみ等の分別等について大変勉強になりました。地元町会に持ちかえり勉強したいと思います。3Rリーダーの勉強を有効に活用させて頂きます。
- ・3回の講座で再度確認出来たことがあった。新しい知識も知ることが出来ました。模擬講座はすごく緊張しました。次の実践にむけてもう一度読みなおします。6/5は参加します。よろしくお願い致します。
- ・3Rのリデュースで、ごみ削減でマイバッグ、マイはしでごみをつくらない考えで行動していたが、容器の面積を小さくしたり又、軽量化できてごみを減らすことになる勉強した。
- ・本日もとても勉強になりました。容器包装がとても大切なキーワードでもあることがよくわかりました。マークを正しく理解して、分別できるようになっていきたいと思えますし、それを広げるお手伝いができたらと思いました。

【先輩リーダー】

- ・3回目になり、積極的に意見も出て、とてもいい時間になったと思います。皆さん実演もしていただいて、今後の活動につなげていただけるといいなと思います。マークの話「容器包装」という言葉の話、新たなクイズなどになるといいなと思いました。

【市川市生活環境整備課】

- ・出来る事なら、国全体で統一した分別方法、ルールとすればどこに住まわれても迷わないと思うのですが。
- ・3Rについて目標や年数など、どのような傾向があるのかについて詳しく知ることができました。特に海外に比べて日本のリサイクルが進んでいると知って一番驚きました。他の自治体によってもリサイクル方式が変わってくると思うので、勉強していきたいと思いました。
- ・「分別」を正しく行うことは想像以上に難しいことなのかもしれないと思いました。プラ容器包装類の正しい定義であったり、紙パックの出し方など、迷う部分が多いのではないかと思います。行政として正しい分別ができるような方法、周知の方法を考えていきたいと思いました。

●事務局より

第2回・第3回については、2月の予定がコロナ禍で延期となり、年度をまたいでの開催となったが、市川市のご協力もあり、新年度早々に講座を再開できた。

市川市の職員の方の異動があったが、今回も3名出席されて、一緒に学ぶという体制が整っている。

新規リーダーの皆さんは学習意欲が高く、熱心に受講されていた。特に、第2回で解説した「リサイクルの基本」については、この冊子の内容のすばらしさ、わかりやすさを高く評価する発言が複数人からあったが、これはこれまでの育成講座で初めてのことで、

「リサイクルの基本」の価値がわかる新規リーダーに、大いに期待が持てる。第3回の終了後には、実践デビューの6/5いちかわ環境フェアに向けて、自主練習の打ち合わせをするなど、意欲も高い。

事務局としても、市川市と連携しながら、良い実践デビューとなるよう、サポートしていきたい。

■市川市新規リーダー実践デビュー

イベント名：いちかわ環境フェア 2022

日時：2022年6月5日（日）10：00～15：30

場所：ニッケコルトンプラザ（コルトン広場）

出展内容：3Rクイズ de ビンゴ

＊市川市生活環境整備課のブースにてクイズを実施

参加者：（敬称略）

〔新規リーダー〕（参加）石村 美佐子、高橋 久代、長谷川 鉄臣、久野 綾子
（欠席）篠原 國幹、近岡 庸子、山崎 叔江

〔市川市生活環境整備課〕高橋 誉、笹沼 花梨、春原 英莉

〔3Rリーダー〕衣川 信子、鈴木 栄美子

〔元気ネット〕足立 夏子、地平 百合子

クイズ参加者：300名

【当日の様子】





【新規リーダーの感想】

- ・今回、初めて参加したイベントで、最初は不慣れで大声を張り上げていたが、少しずつ加減が分かってきた。
- ・クイズを通して色々な事が学んでいる様子を楽しく思った。ありがとうございました。
- ・覚えたことを皆さまの前でお話をするということは、ドキドキだったが楽しくすごせた。
- ・参加者から意見をいただいたりした。
- ・とりあえず自分としては、第一回目はクリアできたかなと思う。
- ・初めての経験でうまくできるか少し不安もあったが、話しているうちに何とかできたと思う。
- ・全部の言葉を覚えたが、小さく、回転よく、という時にはなかなか難しかった。話すテンポが会場的大小などによって変えられるようにできるともっと良かったと思う。

【先輩リーダー】

- ・皆さんがしっかり練習してあってすばらしかった。次は練習していない問題にも挑戦してもらいたい。
- ・人の流れは、流れを担当している人に任せた方が良い。言うことがバラバラだと、お客さまが困ると思う。
- ・カンペキに覚えているからといって、当日、全てを言わなくてもいいと思う。今日は優しく最後まで聞いてくれるお客さんが多かったのが良かったが、難しいときもある。
- ・分業はカンペキだった。市川市はもう安心だと感じた。
- ・お疲れさまでした。会場に恵まれ、来客数も多く、リーダーさんにとって良い機会だったと思う。新規リーダーの皆さんが一字一句まちがえない程覚えてきていて尊敬。
- ・これから注意する点としては①テンポ良く→正解を発表する時のいきおいなど ②臨機応変に→混んできた時どこを削るかも考えてできると良いと思う。

●事務局より

市川市の新規リーダーの皆さんは、座学の時から熱心に受講されていて、今回のいちかわ環境フェアについても、事前に自主練習をするなど、意欲的に準備してきた。

当日は、予め分担して台本をしっかりと覚えてきており、素晴らしい実践デビューとなった。場数を踏んでいけば、臨機応変な対応も身につくことと思う。

市川市のサポート体制もあるので、今後、このメンバーで環境のイベントに参加したり、所属している団体での3R情報の共有など、様々な場での活躍が期待できる。元気ネ

ットとしても、研修やイベントの案内等を行い、積極的にフォローしていく所存です。

②白井市（次年度に繰り延べ）

■経緯

2022年10月に白井市で新規3Rリーダー育成講座開催が確定し、2023年2～3月に3回の講座を実施し、2023年10月のふるさと祭りで実践デビューという計画で、募集方法等の打ち合わせを進めていたが、11月下旬に白井市から連絡があり、講座開催を2023年5～7月ごろに変更したいとの申し出があった。

理由としては、声かけの範囲を広げたいので、そのためにもう少しお時間をいただきたいとのこと。2023年10月のふるさと祭りで実践デビューというところは、変更なし。

その後3月に入ってから再度連絡があり、相談の結果、7～9月に講座3回、10月にデビューという予定になっている。

③柏市

■経緯

柏市の市民リーダー育成講座は、2020年度に3回の講座を実施し、座学は終了したが、その後の緊急事態宣言の発出により、実践デビューが延期となっていた。2021年度は相次ぐイベントの中止で機会がなく、2022年11月のぽかぽか市でデビューの予定だったが天候不良のため、2023年3月に延期となった。

■柏市3R市民リーダー実践デビュー

イベント名：ぽかぽか市

日時：2023年3月21日（火・祝）10：30～15：00

場所：柏駅前通りハウディモール歩行者天国

出展内容：3Rクイズ de ビンゴ

*柏市リサイクルプラザリボン館運営委員会のブースにてクイズを実施

参加者：（敬称略）

〔新規リーダー〕新井 優子、金子 眞理子、高橋 雅子、平山 裕子

〔3Rリーダー〕植木 恭子（この他にリボン館運営委員会より2名参加）

〔元気ネット〕鬼沢 良子、足立 夏子

クイズ参加者：125名

【当日の様子】





【リーダーの感想】

- ・ごみのことを知っていただけで良かった。
- ・いろいろな方とお話できて、楽しかった。
- ・私と同じように、初めて知るとびっくりする方が多いんだと思った。
- ・それぞれのレベルがあるが、対面で実践することで確実に全員レベルが上がったと思う。
- ・話していくうちに、相手の反応を見る余裕も出てきた。回数をこなすことが大事だと思った。
- ・回数を重ねることで度胸がついたようで、ある程度自信を持ってすることができた。
- ・人前で公開できたのは大変勉強にもなり、自信が多少ついたような気がする。

●事務局より

実践デビューまで2年間あったが、この間、2回のフォローアップ講座を開催し、新規リーダーの知識とモチベーションの維持に努めた。

今回、初めて人前でクイズを行ったが、感想にもあるように、新規リーダーの皆さんは緊張しながらも、一日の中で何回も繰り返すことで、着実に慣れて、上達していた。

もともとリボン館運営委員会やサポーターの活動で、日頃から顔見知りの方々为中心のため、和気あいあいとした雰囲気での実施できた。

クイズ実施に必要な物品やフリップ等は、リボン館運営委員会に所属する市民リーダーの植木さんが中心となり、自分たちで揃え、準備を行っており、拠点となるリボン館もあることから、今後の地域での活動に期待が持てる。

2. スキルアップ研修

■経緯

年間3回開催した。第1回は元気ネットが講師となって3Rの基礎知識やクイズ実施の現場での注意点等を情報提供し、第2回は連絡会の皆さまから容器包装の最新情報の講義をいただき、質疑や意見交換を行った。第3回は年度のまとめとして、久しぶりに対面でクイズ実施の感想やスキルアップ研修での気づきなどについて、共有を図った。

■第1回3R市民リーダースキルアップ研修

日時：2022年6月9日（木）午前・午後、10日（金）午後（各回2時間程度）

開催方法：オンライン（Zoom）

内容：容器包装の最新情報等の提供

- ・「リサイクルの基本」の解説
- ・容器包装の役割とその進化に関するクイズ(2021年度食育フェア出展クイズ)
- ・Q&A、意見交換

参加人数：市民リーダー（13人）、元気ネット（3人）

実施日時（2022年）	参加者（講師：鬼沢）
6月9日（火）10：00～12：00	高橋(久)、久野、植木、中村、石村、新井、足立
6月9日（火）13：30～15：30	高山、富沢、伊藤、高田、足立
6月10日（水）13：30～15：30	岡納、秋田、田中、足立地平

【6月9日のスクリーンショット】



【6月10日のスクリーンショット】



【参加者の感想】

- ・4月から始まったプラスチックに係る資源循環促進法について、今後いろいろと知らないといけないと考えていたので、とても参考になった。

- ・ただ資料を読んでいるより、オンラインでも実際に話を聞いて皆さんと会話すると、より身についていくように感じる。
- ・これまで漠然としか理解していなかった識別マークについて、その意味がわかってスッキリした。
- ・3R市民リーダー仲間と久しぶりに顔を見て話すことができ、楽しく学ぶことができた。

●事務局より

第1回の今回は、元気ネットのみで実施した。「リサイクルの基本」の復習をしたが、「識別マーク」を十分に理解していない人が一定数いて、今回はっきりと理解できて良かったという感想が印象的だった。基本的な事項を繰り返し確認し、しっかりと理解することの大切さを改めて感じた。

最新情報の獲得以外にも、参加者同士、同じ地域でも久しぶりに顔を見たときも喜ぶ方もいて、モチベーションの維持という点でも効果があったと考える。

年度後半の1回については貴連絡会に参加をお願いし、情報提供をしていただく予定。

■第2回3R市民リーダー向けスキルアップ研修

日時：2023年1月19日（木）13：30～16：00

場所：ガラスびん3R促進協議会 会議室

（東京都新宿区百人町3-21-16 日本ガラス工業センタービル地下）

開催方法：ハイブリッド方式（オンラインと会場の併用）

内容：・3R推進団体連絡会より容器包装の3Rに関する最新情報等の提供
・Q&A、意見交換、感想共有

参加者（順不同敬称略）：計23名

[市民リーダー] 会場→秋田 さかえ、高橋 久代、久野 綾子 3名

オンライン→植木 恭子、冨沢 二三子、伊藤 ふさ江、高山 津、中村 明子、
岡納 京子、高橋 門樹、吉崎 洋子、加藤 栄子 9名

[連絡会] 会場→川村 節也、田中 希幸、伊藤 忍、小松 郁夫、藤津 雅子、
中田 良平、保谷 敬三、端山 亮 8名

[元気ネット] 会場→鬼沢 良子、足立 夏子、地平 百合子 3名

*プログラム・会場の様子、議事内容については、別添の議事録を参照

■第3回3R市民リーダースキルアップ研修

日時：2023年3月28日（火）

開催方法：オンライン（Zoom）

内容：・容器包装に関する最新情報と課題、質疑
・「リサイクルの基本」3R情報の確認、質疑
・2022年度のイベント振り返り、参加リーダーの感想共有、クイズの留意点
・意見交換、感想共有

参加者（順不同敬称略）：計 13 名

〔市民リーダー〕 衣川 信子、鈴木 栄美子、田中 雅子、渋谷 友子、御所野 三代子、
高山 津、中村 明子、岡納 京子、高橋 門樹、久野 綾子 10 名

〔元気ネット〕 鬼沢 良子、足立 夏子、地平 百合子 3 名

【スクリーンショット】



【参加者の感想】

- スキルアップ研修に参加することで新しい情報をもらえる。理解して、取り入れていけないといけないと感じている。
- 今年度は何回かイベント参加したが、とても楽しかった。自分の地域でもこの経験を活かしていきたい。
- これまでイベントに参加したことがなかったが、今年初めてエコプロに参加し、素晴らしいと思った。学校でもこのような（環境）イベントをやって、子どもから大人に情報が伝わるようにするのも良い。
- 若い人を巻き込むことが大事だ。イベントで3Rクイズをやるのに、中学生や高校生に参加を呼びかけるのも良いのではないかな。ボランティア活動に興味ある子もいる。
- 普段から小さい子に接する機会が多いが、3Rに関して若い保護者の方にもっと知ってもらいたい。
- 3Rの重要性を改めて感じた。リサイクルにはお金がかかるという意見もあるが、「経済性」と合わせて「資源循環」の視点が大事だと思った。
- 自分の地域ではプラスチックは可燃だが、他のリーダーの方の地域では容リプラを資源回収していることを知って、考えていくべき課題だと思った。
- 今年度はイベントに参加したが、時間がたつと忘れてしまうので、このスキルアップ研修のような機会が定期的にあるととても良い。
- 久しぶりにイベントに参加し、対面の楽しさを感じた。人前に出ることが大事だと思った。

●事務局より

今年度最後のスキルアップ研修は、元気ネットのみでオンラインで実施した。

容器包装の3Rに関する最新情報と課題では、「地域循環共生圏＝ローカルSDGs」「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」など、現在の社会の課題を把握した上で、未来の展望を持って、今の自分にできることをやっていくことの重要性を伝えた。

「リサイクルの基本」を使つての各素材についての解説では、これまで情報提供はしたが、十分に定着していないと思われる項目について、重点的に解説したり、リーダーに問いかけ、回答してもらつたなどして、理解を深めるように配慮した。

また、2022年度は久しぶりにイベントが戻つてきて、対面で参加できるイベントがあったので、参加したリーダーに振り返りと感想を述べてもらい、「クイズの留意点」を共有した。

3. 自治体担当者向け情報交換会

【開催概要】

日時：2022年9月5日（月）13：30～16：00

場所：乳業会館 C会議室

開催方法：会場とオンラインのハイブリッド方式

参加自治体：埼玉県加須市・越谷市、千葉県市川市・白井市、愛知県豊川市、東京都調布市・新宿区・文京区・町田市（市川市のみ会場参加）

連絡会会場参加：田中 希幸、川村 節也、伊藤 忍、小松 郁夫、中田 良平、保谷 敬三、端山 亮

連絡会オンライン参加：久保 直紀

*プログラム・会場の様子、議事内容については、別添の議事録を参照

4. 出張講座・イベント出展

今年度は、コロナ禍の中でも工夫を凝らしてハイブリッド開催や会場開催を模索する動きが出てきた。会場で開催された環境まつりやエコプロなど、以下の4イベントに出展した。

①イベント名：新宿区3R推進キャンペーン～新宿発エコなくらし～

【開催概要】

日時：2022年9月23日（金・祝）～24日（土）

場所：新宿駅西口イベント広場イベントコーナー

内容：展示のみ。3Rクイズの動画2本放映

【会場の様子】



【事務局より】

あいにくの荒天で通常よりかなり人通りが少なかったこともあり、場内はまばら感じではあったが、併設の新宿区のごみ減量絵画展を訪れる親子連れが、展示の方も見学する姿があった。

新宿区の環境清掃部ごみ減量リサイクル課の方によると、1日目(9/23)の午前中は、かなりにぎわっていたとのこと。

②イベント名：子どもとためす環境まつり

【開催概要】

日時：2022年10月1日(土) 10:00～15:00

場所：中央区立佃島小学校

内容：3Rクイズdeビンゴ

参加リーダー：伊藤 ふさ江、高田 陽子、岡納 京子、高橋 久代、久野 綾子
(7名の予定だったが、2名がキャンセルで結果5名となった)

元気ネット：鬼沢 良子、足立 夏子、地平 百合子

クイズ参加人数：約220人

【当日の様子】＊写真はすべて公開可能



【市民リーダーの感想】

- ・参加の親子は熱心な方が多かった。アルミのリサイクルにびっくりしたり、反応が大変楽しく感じた。
- ・久しぶりの参加で楽しめた。他の方の説明を聞くのも大変勉強になった。
- ・久しぶりでちょっと緊張したが、やはり人と触れ合って話すのは手応えがあって良かった。

た。

- ・保護者の反応が良く、リサイクルの大切さをわかってもらえたと思う。
- ・たくさんの方が来てくださったのでとても楽しかった。自分の反省点としては、子どもに伝わるように言い方をもう少し工夫できると良かったと思う。
- ・久しぶりのイベント参加で楽しかった。たくさんの人と出会えたのも良かった。次回も楽しみにしている。

【事務局より】

- ・会場では、コロナ対策として、手指の消毒、検温はもちろん、来場者の靴カバー、ブーススタッフ人数の制限や来場者のブース滞在時間の制限等があった。
- ・3年ぶりの会場開催だから例年より来場者が多かったのか、途切れることなくクイズ参加者があった。
- ・少し余裕のある時には、プラスアルファの説明を行うこともあったが、若い保護者の方々が熱心に聞いてくださることが多かった。
- ・参加したリーダーは、交代でクイズを担当したが、お互い助け合ってスムーズに実施できた。説明などは、足りないところは事務局がカバーした。
- ・参加者の人数や反応を見ながら、説明を足したり、引いたり、また年齢層に合わせて言葉遣いを変えるなどの工夫ができるようになるためには、実践が必要であることを改めて感じた。

③イベント名：3R推進全国大会（2022/10/27～2023年2月末）

【開催概要】（大会当日）

日時：2022年10月27日（木）

拠点会場：東京ウイメンズプラザ

内容：大会式典（表彰式等）、記念シンポジウム（当日ライブ中継）

展示コーナー、施設見学会（いずれも録画ビデオ配信）

*11/2から2023年2月末まで、オンラインでアーカイブ配信実施。

●事務局より

オンライン開催となったことを受け、今年度作成の3Rクイズの動画2本（汎用版）を「3R推進展示コーナー」に出展した。

④イベント名：エコプロ2022

■経緯

例年は1日だけのクイズ実施だが、本年は3日間実施の要請を受けたことから、早めに市民リーダーの募集を行い、実施した。

【開催概要】

日程：2022年12月7日（水）、8日（木）、9日（金）

場所：東京ビッグサイト（東6ホール 6-022 3R推進団体連絡会のブース）

内容：3Rクイズdeビンゴ

参加リーダー：12/7 鈴木 栄美子、田中 雅子、岡納 京子、吉崎 洋子、久野 綾子
12/8 秋田 さかえ、田中 雅子、山崎 恵、久野 綾子
12/9 岡納 京子、高橋 門樹、衣川 信子

元気ネット：鬼沢 良子、足立 夏子、地平 百合子

クイズ参加者：12/7*140名、12/8*158名、12/9*186名 合計484名

【クイズ実施時間】(各回30分)

12月7日(水) 13:00～、14:00～、15:00～

8日(木) 13:00～、14:00～、15:00～

9日(金) 11:00～、12:30～、13:30～

【当日の様子】



【リーダーの感想】

- ・最近、マイクで話す機会もなかなかなかったので、自分にとって貴重な経験となった。
- ・久々にやって緊張した。人がやっているときはいろいろ気づくのに、自分のときにはうまく言葉が出てこなくて練習不足を痛感した。
- ・パネルの出し方など、細かい動作、流れをしっかりとしないといけない。気をつけようと思っていてミス。あせらないで落ちついて隣の人との連携をしっかりとすると良い。
- ・パネル出しなど、司会の方とのタイミング合わせを上手にできたら良かった。
- ・なかなか難しい。マイクは持ったことがないのであがってしまった。
- ・3つの説明を一度にしたのは初めてだったので、流れるように話すのは難しかった。

どんなシーンでの応用もできるようにしていきたい。

- ・久しぶりで難しかった。やっていて少しずつしゃべれたり、やれるようになった。他の方のフォローが上手でとても助かった。
- ・中味を理解していても、それをわかるように伝えることの難しさと、伝えるべき要点がちゃんと順番に頭におさめられてなくて、ずい分助けていただいた。
- ・本日は2日目だったので昨日よりはスムーズに話せるようになった。他の人が話している時にサポートできるようになりたいと思う。正しい言葉で話せるよう心がけたい。
- ・エコプロ初参加で、とても良い勉強をさせていただいた。ビンゴクイズがこのように実際に行われるのを知り、納得がいった。
- ・多くの子どもたちに向けて実施できたのが良かった。
- ・エコプロについては、今回はとても見やすく感じた。子どもたちの反応が良かった。

【事務局より】

参加したリーダーの皆さんの中には、初めての大舞台という方も多かったが、何事も経験ということで、司会・解説係を交代で務めてもらった。かなり緊張したり、思ったほどうまく話せなかったりと反省点もあったが、実践の中でこそ学べるものを、各自がしっかりつかんだ3日間だったと思う。スキルアップ研修で感想・反省を共有するなどして、この経験を活かしてレベルアップをはかりたい。各地域で実践の場が少なかったことが、影響していると思われる。

5. 3R情報定期便

■経緯

今年度の新規取り組みとして、3R市民リーダー全員に、容器包装の8素材について、毎月1素材を取り上げて情報提供を行った。

2020年の初春から、新型コロナの影響で活動が制限され、活躍の場や対面での研修の場がない状況が続いているため、定期的な連絡で3Rに関する興味関心を維持し、在宅で新しい知識や情報を得て、会場開催への参加に備えるという目的で行った。

■各月の情報提供素材

6月：ガラスびん	7月：PETボトル	8月：紙製容器包装
9月：プラスチック容器包装	10月：スチール缶	11月：アルミ缶
12月：飲料用紙容器	1月：段ボール	

【事務局より】

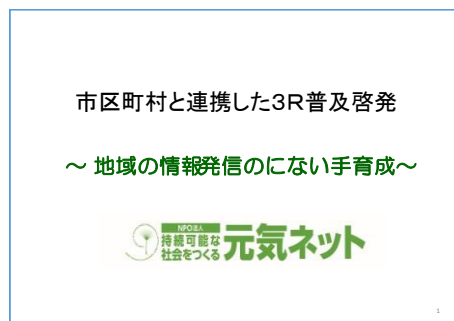
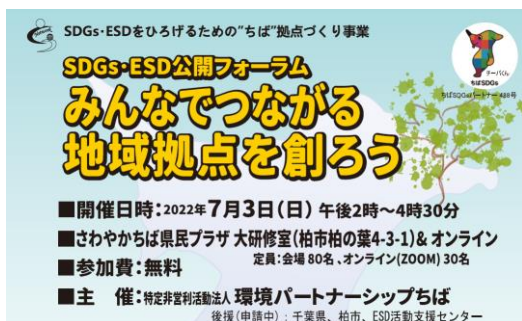
情報提供にあたっては、基本的なことを優先し、あまりボリュームが大きくなりすぎないように心掛けた。

頻繁に感想を寄せてくれる方がいたり、感想からその方の理解のレベルがわかったり、事務局としても定期的な連絡から見えてくるものがあった。

6. 情報提供・その他

- ①SDGs・ESD公開フォーラム「みんなでつながる地域拠点を創ろう」に鬼沢が参加、3R市民リーダー育成事業について報告した。

日程：2022年7月3日（日）



- ・主催者の環境パートナーシップちばから鬼沢に執筆依頼があり、3R市民リーダー育成事業を含む記事が会報誌に掲載された。

- ②神奈川県環境科学センター 令和4年度環境学習リーダー養成講座

【開催概要】

日時：2022年10月16日（日）

場所：芝浦海岸リマニKスタジオからオンライン配信

内容：「環境問題の基礎知識」～伝える情報を伝わる情報にして行動につなげよう～
10回の連続講座の1回にて、脱炭素社会の構築に向けた国、研究機関、企業の動向や特に容器包装とプラ新法に関して解説。

参加人数：50名

- ③「つな環40号」に理事長の鬼沢と明治大学の松浦氏の対談が掲載

日程：2022年10月21日（金）

地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）と環境パートナーシップオフィス（EPO）の機関紙「つな環40号」巻頭に、鬼沢理事長と明治大学専門職大学院ガバナンス研究科（公共政策大学院）専任教授松浦正浩氏の対談が掲載された。

テーマは「循環型社会へのトランジションのために」。対談の中で「市民リーダー育成事業」「3R普及啓発」の紹介を行った。

*掲載記事はこちら↓

<http://geoc.jp/content/files/japanese/2022/10/tunakann40taidan.pdf>

- ④消費生活アドバイザー講座

一般財団法人日本消費者協会 2022年度消費生活コンサルタント養成講座

【開催概要】

日時：2022年10月22日（土）

場所：联合会館会議室とオンラインのハイブリッド

内容：「環境問題の基礎知識」特に容器包装とプラ新法に関して解説。

参加人数：15名

⑤南筑後プラスチック協議会報告会

【開催概要】

日時：2022年11月26日（土）

場所：大木町くるるん

内容：3R市民リーダー育成事業を紹介

参加人数：35名

⑥容器包装交流セミナーin 鹿児島

【開催概要】

日時：2023年2月2日（木）

場所：ライカ南国ホール

内容：3R市民リーダー育成事業を紹介

参加人数：41名

Ⅲ 考察

総括・次年度に向けて

●2050年カーボンニュートラルに向けて、2022年10月25日には、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動・官民連携協議会」の発足式が開催された。

あらゆる手段によって温室効果ガスの排出量を削減し、脱炭素社会へ移行することと、サーキュラーエコノミーおよびSDGsの達成に向けて、プレイヤーは国民一人一人であり個人の行動変容にかかっている。しかし、消費者に情報が届き、それにより行動を変えていくには、かなりの時間がかかる。ライフスタイルや価値基準が大きく変わりつつあるが、一人一人の行動変容にまでは行きついていないのが現実である。

市民の3Rに関する普及啓発の担い手として「3R市民リーダー育成」を貴団体の皆さまと連携して実施してきたこの事業は、まさしく、市民・事業者・行政の連携による取組である。

●コロナ禍3年を過ぎ、リアル会場でのイベントが復活しつつあり、市民リーダーには久しぶりの実践の場となった。新規自治体の市民リーダー育成においては、連携自治体の諸般の事情により翌年度に繰り延べとなってしまったが、昨年度に続き3Rリーダースキルアップ研修をオンラインと会場のハイブリットにて開催できた。オンライン開催にも慣れたことで市民リーダーの参加が増え、他の人の質疑等により理解が深まる結果となった。新規の市民リーダーの参加が刺激になっていることもあり、地域を超えて集うことがスキルアップつながると言える。

課題としては、若年層のリーダーが少ないことが挙げられる。市民リーダー育成講座が繰り延べとなった白井市では学生の募集も計画している。動画を有効に活用して、若い世代への情報提供を模索していきたい。

また、柏市のフォローアップと白井市の3R市民リーダー育成講座修了を予定している。

●自治体担当者との情報交換会では、ハイブリッド開催のため、首都圏近隣と遠方の自治

体にも参加を呼びかけ、容器包装の機能・役割や環境配慮、素材別の3Rの基礎知識、情報提供、リーダー育成講座の実施自治体の報告などを行い、意見交換を実施した。こちらにも参加自治体が多く、次年度もハイブリッド開催の利点を活かし、範囲を広げて自治体向け情報交換会を実施したいと考えている。

●元気ネットに「容器包装の3R」「食品ロス」「廃棄物・資源循環」「環境問題の基礎知識」等のテーマで、講演依頼やクイズ実施の要請があった際の情報提供については、主に理事長の鬼沢の講演の中で、食品ロス削減と容器包装の機能や役割等および自治体と連携した人材育成の話を盛り込むなど、今年度も数回にわたって情報提供を行った。今後もあらゆる機会において柔軟に対応し、情報発信をしていきたい。

●SDGsの目標達成に向けて、「全てのSDGsが教育に期待」している。特に、ESDは持続可能な社会の担い手づくりを通じて、17全ての目標の達成に貢献するものとも言われている。3R市民リーダーは、まさしく地域における情報発信・伝達の担い手である。今後も、3Rの普及啓発の担い手となる人材の育成を継続していく所存である。

一方で、世代間のギャップは大きく、地域からの情報が届いていない世代へ向けて、新たな手法の検討も必要である。若者や子育て世代はSNSによる情報入手が一般的になっており、情報発信の多様化も見据えて、活動を展開する必要があると感じている。

また、「伝える」と「伝わる」には、大きな違いがあり3R市民リーダーの方々が「伝わる」情報発信をしていくためには、対応力を身につけ個人のスキルを上げていくことが求められる。コロナ禍3年で、実践の場が戻りつつあるが、久しぶりの対面で実践の楽しさと難しさを感じたリーダーが多いようである。実践での体験・気づきを共有するなどスキルアップ研修に力を入れて今後に向けて準備していきたい。

コロナ禍の中で、新しい試みを模索した結果、そこから見えてきたことも多い。今後を活かしていきたい。

以上



理事長：鬼沢良子

担 当：足立夏子

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-33-7-506

T E L : 03-6300-5157

F A X : 03-6300-5158

E-m a i l : info@genki-net.jp